

JR PROPO
PROFESSIONAL RADIO CONTROL SYSTEM

RG812BX 2K

DMSS2.4GHz RECEIVER SYSTEM

取扱説明書

このたびは、JR製品をお買い上げいただき
まことにありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用いただくためにも
取扱説明書を必ずお読みください

- 特 徴
- ・FHSS方式により、混変調及び相互変調妨害を受けにくい高感度受信機。
 - ・機体のバッテリー電圧などの情報をフィードバック可能なテレメトリシステム搭載。
 - ・同軸アンテナ 2本で安定した通信を実現。
(更にリモートアンテナ (別売) を接続し、より安定した通信が可能。)
 - ・LEDの点灯により受信状況が確認可能。
 - ・2本のアンテナからテレメトリ電波を交互に送信することにより
従来より安定したテレメトリ通信を実現。
(更にリモートアンテナ (別売) を接続し、より安定したテレメトリ通信が可能。)
 - ・送信機でのフェイルセーフ設定に対応。
 - ・XBus対応で、多チャンネル化も可能。
 - ・AUX3 / XBusポートが切り替え可能。
 - ・イージーバインド機能搭載。(バインドプラグ不要)
- 構 成
- RG812BX / 受信機本体 ● スイッチプラグ ● 取扱説明書 (本書)

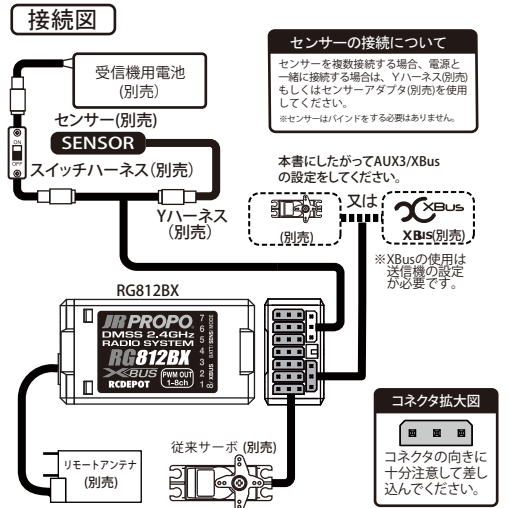
安全にご使用いただくために必ずお守りください。

- はじめにお読みください。
- 2.4GHzシステムを安全にご使用頂くための基本的な注意事項
- ①2.4GHzはラジコン専用の周波数ではありません。この周波数帯は電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなど近距離通信に利用されるISM(産業・科学・医療)バンドと共用されているため、都市部では2.4GHzシステムの操縦レスポンスが低下する可能性があります。また、アマチュア無線、移動識別用機内無線にも使用されているため、これらの影響を注意して使用してください。なお、既設の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の発射を停止し、干渉回避対策を実施してください。
- ②走行場・飛行場では、送受信機に影響を与える可能性のある機器の使用は最小限にし、事前に安全性を確認するようにしてください。また施設の管理者の指示に従ってください。
- ③同一走行場・飛行場では、同時に使用する2.4GHzプロポの台数は15台以内になしてください。同時に使用される2.4GHzプロポの台数が判るように施設の管理ボード等を利用してください。
- ④建物や鉄塔・樹木などの後ろを走行や飛行させ、電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスが低下したり操縦不能になる場合があります。常に目視で確認できる範囲で走行や飛行をしてください。
- ⑤日本国内では、電波法に基づく技術基準適合証明試験を受け、認証番号を記載した認証ラベルが外から見える場所に貼られているプロポが使用できます。ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- ⑥海外からの輸入品等の場合で、上記認証ラベルが貼られていないプロポの使用は電波法違反になり罰せられることがあります。
- ⑦(財)日本ラジコン電波安全協会は、ラジコン運用を安全に行って頂くための啓発を行っています。同協会の名称の入った認証ラベルが貼られているプロポをご使用ください。

使用者もしくは第三者への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように表示します。

△ 危険	この表示機の内容は、「使用者もしくは第三者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。」	お守りいただく内容を、次の表示で区分し説明します。
△ 警告	この表示機の内容は、「使用者もしくは第三者が死亡または重傷を負う可能性が生じることが想定されます。」	この表示で「義務事項」を説明します。
△ 注意	この表示機の内容は、「使用者もしくは第三者が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。」	この表示で「禁止事項」を説明します。

受信機規格	
品 番	RG812BX 2K
通信方式	DMSS方式
重 量	15 g
寸 法	14.5 x 25.5 x 48mm
動作電圧	4.5-8.5V
備 考	同軸アンテナタイプ (アンテナ/同軸) 25/115mm



※カーボン製などの受信状態が悪い機体への搭載の場合には、リモートアンテナを接続することを推奨いたします。リモートアンテナを使用する場合は、リモートアンテナを接続した状態でバインドを行ってください。

△ 危険

- 操縦不能となり危険です。
- 雨の日の飛行は、送受信機内部に水が入り誤動作の原因となりますのでおやめください。
- 発熱、発火、感電性があります。
- 分解、改造をしないでください。
- ① エンジンやモーター (電動模型の場合) が不意に高回転となり危険です。
- 電源スイッチをオンにする時は送信機のスロットルスティックを最ロー (エンジン、モーターの回転が最低回転の位置) にし、送信機の電源スイッチ、次に受信機の電源スイッチの順にオンにして下さい。また、電源をオフにする時は逆に受信機、送信機の順にオフにしてください。
- ① 怪我をする事があります。
- エンジン (モーター) 調整は必ず後から動作中の動力に細心の注意をはらって行うようにして下さい。送信機のスロットル/ハイでエンジンをかけることは危険ですのでおやめください。

△ 警告

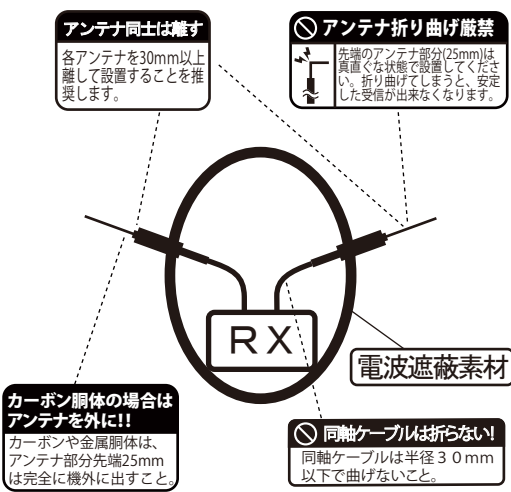
- 故障の原因となります。
- 他社製品 (サーボ、ジャイロ等) を組み合わせて使用しないでください。
- ① 誤動作の原因となります。
- 送受信機は、精密な電子機器です。強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- ① 操縦不能となる可能性が有り危険です。
- 飛行中動きが鈍いと感じたらず着陸してバッテリー残量サーボ等の点検を行ってください。
- 以下の場所での飛行は操縦不能や事故の可能性があり危険ですのでおやめ下さい
- ・トランシーバー妨害のある時。 ・車やオートバイの走っている付近。
 - ・高圧線・ビル、土手の近く、山間部等。 ・民家や建造物付近、及び人の近く。
 - ・FMやTV放送局、船舶無線等の無線設備の近。
- ① 突然、誤動作を起こす可能性が有り危険です。
- 受信機、サーボ等が水没した場合、乾燥後正常に動作しても飛行中急に調子が悪くなる場合がありますので水没した場合は再度使用しないでください。

△ 注意

- ① 飛行前に安全のために次のような点検を行ってください。
- 送受信機のバッテリー残量はありますか。
 - 燃料タンクの燃料漏れにより受信機やサーボ等に燃料がかかっていないか。また、燃料は入っているか。
 - 機体の振動ノイズの原因となる、リンクage類が機体や胴体に当たったりしていないかさらに、機体を固定した状態でエンジン (モーター) をハイにして、各舵を動かし完全に動作するかどうか確認して振動テストを行ってください。初飛行は距離を離さず、安全な場所を選び上空を数分テストフライトして異常の無いことを確認して下さい。

受信機アンテナの設置について

カーボン等電波を通さない素材が胴体、翼などに使われている場合、どの方向からも、遮蔽物の陰に入らないアンテナが1本以上あるように設置してください。

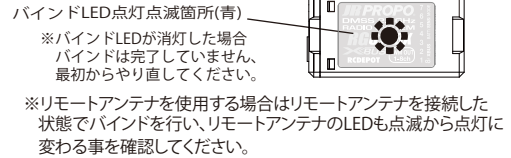


本製品は指向性の強い2.4GHz受信機です。アンテナの設置は特に重要ですので上記の注意をよく読んで正しく設置する様にして下さい。

バインド設定方法

■送信機と通信を行うためには必ずバインド(ペアリング)をしなくてはなりません。ここではバインドの設定方法を説明いたします。本機は、バインドプラグを使用しないイージーバインドシステム (EASY) を採用しています。

- 1 お手持ちの送信機のマニュアルに従い送信機をバインドモードにし、受信機にバッテリーを接続いたします。
受信機のLEDが点滅を始めバインドを開始いたします。
- 2 受信機のバインドLEDが点滅から点灯に変われば、バインド完了です。



バインド完了後は必ず【送信機】から電源を入れる。

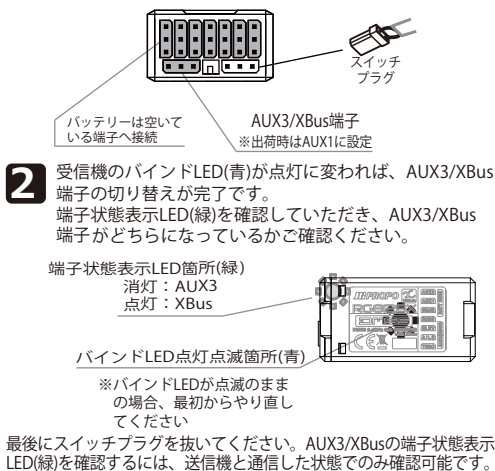
一度バインドが完了した送受信機でも、受信機の電源を先に投入した場合、3秒でバインド待機状態となります。バインド待機状態時、近くで他の送信機がバインドした場合、バインド情報が上書きされる場合があります。必ず送信機から電源を入れるように心がけてください。

バインドがうまくいかない場合、以下のことをご確認ください。

- ・送受信機のバッテリー残量は十分ありますか。
- ・送信機と受信機の距離が近づきすぎていませんか。
- ・金属製の机や台の上では、バインドできない場合があります。

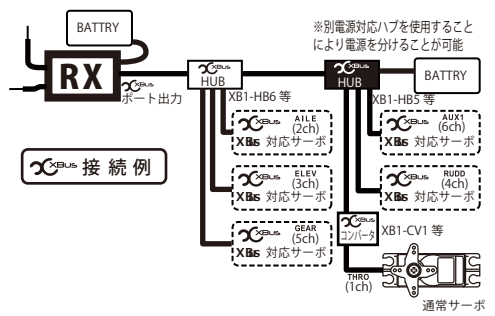
AUX3 ↔ XBus 端子の切り替え方法

- AUX3 / XBus端子は、XBusかAUX3に切り替えて使用が可能です。出荷時はAUX1です。
- 1 本機は、スイッチプラグを使用して送信機とバインドすることによって、AUX3/XBus端子がAUX3からXBus、XBusからAUX3へと交互に切り替わります。まずは、お手持ちの送信機マニュアルに従い送信機をバインドモードにし、BATT/SENS端子にスイッチプラグを差し込んだ受信機の電源を入れてください。受信機のLEDが点滅をはじめバインドを開始いたします。



XBusについて

XBusシステムは従来ラジコンで使用されていたPWM信号による制御ではなく、XBus対応製品とのシリアルデータ通信方式を採用しています。操作信号は全てのチャンネルが含まれており、其々の機器が自分に割り当てられたデータを選択し動作します。XBus対応製品を接続した後に送信機等でチャンネルの割り当てを設定しないと動作しません。従来の機器を直接接続しないでください。故障の原因となります。別電源用ハブを使用すると下図の様に電源を分けることができます。※XBusポートを使用する場合は、送信機の設定が必要です。



■ 修理アフターサービスに関するお問合せ

【RC DEPOT ラジオサービスセンター】 TEL : 04-7157-0159

発売元：小西模型株式会社 (RC DEPOT) TEL: 04-7197-2948
〒270-0239 千葉県野田市泉1-3-17 FAX: 04-7127-8010

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Warning: Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to take the following steps to correct the interference:

1. Reorient or relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Industry Canada License-exempt RSS-210. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation.